

令和2年度 一般会計歳入歳出 決算認定に対する討論 要旨

各党派等の代表議員11人が、決算の認定に対し、賛成・反対の立場で討論を行いました。詳細は、ホームページのインターネット議会中継で録画をご覧ください。

反対 コロナ禍から区民の命、生活・営業守る 区独自の対策が不十分

日本共産党目黒区議団 **岩崎 ふみひろ** 議員

反対する理由の1点目は、コロナから区民の命を守る取り組みが弱いこと。一貫して、区民や高齢者や障がい者、介護事業者、保育関係者などにPCR検査などを幅広く定期的に区独自で行うよう求め続けてきたが、区長はそれを拒否し続けた。

2点目は、コロナ禍から区民の生活・営業を支える視点が弱いこと。区独自の支援が必要だったが、プレミアム商品券事業などはあったものの、実効ある支援はなかった。

3点目は、高齢者対策、介護対策、障がい者対策などケアを支える点で不徹

底が残された。地域密着型施設の整備は遅れ、障がい者施策では基幹相談支援センターや入所施設が十分に機能していない。参入事業者任せで、区が十分にイニシアチブを発揮できていない。

4点目は、区立保育園の廃園・民設民営化、区立学童保育クラブの民間委託を進めていくこと。区立保育園を望む区民の声がないがしろにされている。

5点目は、区の常勤職員の配置が不十分で、保健所などが逼迫している。区の執行体制を強化し、コロナから区民の命を守り、くらしを応援するために全力を挙げることを求める。

賛成 議会重視の姿勢を評価。 10年後、20年後も住み続けたい目黒区を!

フォーラム目黒(立憲民主・無所属の会) **橋本 しょうへい** 議員

令和2年度は、コロナ禍によって世の中のさまざまな課題も浮き彫りになった1年であり、先が見えない中での対応で目の前の問題に追われる1年でもあった。

補正予算の編成にあたり、東京都をはじめ専決処分が乱発される自治体も多くある中、目黒区では4回とも議決を経て行われたことは高く評価する。

また、「心にさくらプロジェクト」や、障害福祉施設の工賃向上に関する質問では、区政の課題に対して部署を超えて連携し、アイデアや工夫をもって取り組む様子がうかがえた。コロナワクチン接

種や目黒区の魅力の向上に関する質問では、今までは違ったコミュニケーションの手法が奏功した様子を聞くことができた。

目黒区の新たな基本構想では「さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐろ」を将来像に定めている。行政職員には創意工夫に満ちた果敢な区政運営によって、社会や環境が目まぐるしく変化する中であっても、誰にとってもいつまでも「心地よい」と感じることができるとまちを、私たち議会とともに手を携えて築き上げていくことを要望し、賛成討論とする。

賛成 既存の慣習と新しい技術、 考えのベストミックスを打ち出せ!

新風めぐろ **青木 英太** 議員

令和2年度目黒区一般会計歳入歳出について、ともに特別定額給付金をはじめとするコロナ対策経費などの要因により大きく増となった状況である。当初は、新型コロナウイルスによる歳入への経済的影響、コロナ対策経費の増大による財政圧迫が不安視されていたが、歳入として特別区民税は目黒区史上1位となり、基金への積み立て額は43億円余となった。しかし、依然としてコロナ禍の影響は続いており、事業の再構築による安定的な財政基盤の確立に目黒区は努めるべきである。

我が会派からは、以下の点について目

黒区に求めた。広報課における各所管との情報発信の連携強化や民間の活用、コロナ禍における学校開放事業の一律の実施、妊婦健診の拡充、産後ケアの更なる充実、近年多発する屋根工事の悪質業者への対策強化、不燃ゴミの今一歩進んだ資源化施策の策定、オンライン授業の質の向上と不登校児童への活用などである。

目黒区としては、10年後20年後の社会を見据え、既存慣習とICTの利活用も含む新たな技術、考えのベストミックスによる施策策定を強く求め、本決算に賛成する。

賛成 「安全・安心なまちづくり」に注目

梅田 まさみ 議員

コロナウイルスに翻弄された令和2年度の一般会計決算は、歳入減の危惧は外れて、実質収支は88億3千万円余のプラスであった。区民の関心が高い「安全・安心なまちづくり」に重点を置いて質問を行った。災害対策の情報化は進んでいるが、実際の行動に移すレベルに

は至っていない。防災士の起用を積極的に行い、防災区民組織の充実を提案する。また、公助のできる限界を伝えることも重要である。特に飲料水は、代替がないので各自の準備が必要である。所管の連携を含め、生きた情報を区民に提供すべきと考える。



そうだ次郎 副委員長

山宮さよたか 委員長

賛成 「社会の変革」に対応できるか? 事業を見極めよ!

川端 しんじ 議員

特別区民税は目黒区史上において最高額。不安をよそに好決算という結果だが、特定財源が5割を超える特殊な歳入の1年であった。

審議については滞納対策課における収入未済額・不納欠損額の改善のため創意工夫した事務整理。特命随意契約

による独占受託事業者に求める帳票の統一と必要性の認識改善。放送法遵守の観点から放送受信料の割増金および延滞金の回避。以上を高く評価した。

職員は事業を見極めよ。中長期的な社会の変革に対応できるかは皆にかかっている。大いに期待する。

賛成 18歳新成人の社会との関わり方、 区としての青写真を描かれたし

岸 大介 議員

緊急事態下に例外的な決算は理解する一方、義務的経費の拡大が、扶助費の伸びに起因している事実は、コロナ禍とは無関係、見過ごせない。今夏、社会が経験した中等症2までの自宅療養・入院難民は、病床不足に起因する入院調整の難しさが顕在化したモノ。今こそ医

療享受までのロジスティクスを改め、公立病院や地域医療機構への人材と機材、高度医療室の整備を求めること。医療構造改革まで含めて、都や国へ要望を具申する時。第6波の襲来を推察する今、政府に先んじての情報取集と、準備・仕掛けを求める。

傍聴に関するお願い

〈問い合わせ〉区議世事務局庶務係 ☎03-5722-9413

当面、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、傍聴者には手洗いや手指消毒液の使用、マスクの着用、事前の検温をお願いします。

◆風邪の症状(発熱、咳、倦怠感など)がある時や傍聴定員を超えた場合は、傍聴をご遠慮いただくことがあります。

令和3年第4回定例会の予定

会期：11/22～12/6

日	月	火	水	木	金	土
11/21	11/22 議会運営委員会 本会議 (一般質問) 議会中継	11/23 勤労感謝の日	11/24 本会議 (一般質問) 議会中継	11/25 議会運営委員会 本会議 (議案付託) 議会中継	11/26 企画総務委員会 生活福祉委員会 都市環境委員会 文教・子ども委員会	11/27
11/28	11/29 企画総務委員会 生活福祉委員会 都市環境委員会 文教・子ども委員会	11/30 区政再構築・感染症対策等調査団	12/1	12/2	12/3	12/4
12/5	12/6 議会運営委員会 本会議 (議案議決) 議会中継	◎：委員会 ㊟：特別委員会 ○(議会中継)：本会議はホームページで中継				

- 録画映像は中継終了後5日程度(土・日曜日・祝・休日を除く)から1年間ご覧になれます。
- 開会予定時間：本会議は午後1時、委員会は午前10時。最新の情報はホームページで確認できます。



▲オクラ
(目黒十五庭・総合庁舎屋上庭園で)
(10月15日撮影)

賛成 新型コロナとの闘いの先も見据え、 安定的財源確保をめざせ

自由民主党目黒区議団 **河野 陽子** 議員

コロナに翻弄された令和2年度、区は議会と連携し、専決処分や予備費活用、4回の補正予算編成で、区民の暮らしと命を守る役割を果たしてきた。めぐろ・3S・アクションを掲げ、幅広い支援やPCR検査体制の確立を進める一方で、定額給付金事業やワクチン接種事業等、国も自治体も初めての一大事業にも挑んできた。今後、新型コロナウイルス感染症の収束が不明であり、来年度以降の財源確保に不安な要素が多い中、少子高齢化が進むとともに膨らみ続ける経常的経費を睨み、安定的財源の確保が大きな課題である。しっかりと10年20年後を見据え、

有事にも強い財政を意識し、基本計画・実施計画の策定、基金や予備費の積み方の再考、さらに、社会の多様な価値観に対しフレキシブルに対応できる区政を目指し、組織編成の検討も必要だ。また、ふるさと納税や不合理な税制改正の影響の推移を引き続き注視しながら、コロナ禍における巣ごもり需要の恩恵や株価と実体経済の乖離の今後の税収に与える影響を見据え、アフターコロナに備えるべきである。以上の視点を今後の区政運営に反映することを要望し、賛成討論とする。

賛成 コロナ感染症対策、 自宅療養者の健康管理体制の強化をせよ

公明党目黒区議団 **武藤 まさひろ** 議員

冬場に向けて感染第6波が懸念されており、対策に万全を期す必要がある。第5波では、医療態勢が逼迫し、自宅療養中に亡くなる人が各地で相次ぎ、医療提供体制の再構築が急務となっている。

急激な感染拡大に耐えられる体制を目指すこと、自宅療養者の不安解消に向け、医師の往診や訪問看護を拡大し、健康管理体制の強化を求める。

また、区民のワクチン接種希望者には、きめ細かい手法で、接種を進めること。3回目のワクチン接種が必要な場合

にも備えること。

また、コロナの影響を受けた区内事業者の活性化に向けた新たな対策に努めていただくこと。

このコロナウイルス感染症の経験から、今まで常識だったものの変化や新たに進めていかねばならない施策などがある。

今後の目黒が進むべき道は、多難で、多様になる。しっかりと未来を見据えて進む方向を定め、舵をとっていただくことを要望し、議案第47号、令和2年度一般会計決算認定に賛成する。